

電力技術研究会専門部会シリーズ③ 負荷平準化専門部会

シリーズ第3回は負荷平準化専門部会と配電専門部会です。

負荷平準化専門部会は、平成9年6月に発足した最も新しい部会で、メンバーは、営業部蓄熱空調グループ杉浦主査のもと大学関係委員6名に当社関係箇所の課長他7名を加えた14名です。その活動内容は、負荷率改善に資する研究開発についての議論を中心とした意見交換と情報交換です。3月8日の第5回部会では、「個別分散方式エコアイス次世代機の開発」(電気利用技術研究所)に対し、活発な意見交換がなされました。

また、発足以来ご指導頂いた中原先生は13年度より電力技術研究会顧問会に移られます。



社外委員の紹介
前列左より、松本、水谷、長野、中原、相良の各専門委員

配電専門部会

配電専門部会は、昭和34年1月 電力技術研究会設立と同時に発足した最も歴史のある部会で、メンバーは、配電部技術グループ田中主査のもと大学関係委員4名、企業関係委員2名に当社関係箇所の課長他9名を加えた16名です。その活動内容は、配電設備のコストダウン、既設設備の有効活用、お客さまサービス・コンサルト、地球環境問題を意識した廃棄物の抑制や有効利用等多岐にわたる研究開発についての議論を中心とした意見交換と情報交換です。

今年度は3回の専門部会を開催しました。6月の第84回部会では、鬼頭委員から「電力系統、その将来」というテーマで今後20年間に予想される電力系統の将来像、および関連する新技術について紹介があったほか、「アモルファス変圧器のコスト削減」(配電部技術G)の研究発表を行いました。11月の第85回部会では、配電線地中化計画および地中機器について意見交換するとともに、岐阜県大野郡白川村の合掌造り集落を訪ね、重要伝統的建造物保存地区での配電線地中化による環境調和の実態を視察しました。3月の第86回部会では、「配電用品のリサイクル拡大」(電力技術研究所配電T)に対し、鬼頭委員、

松村委員から、今後は機器の設計段階から積極的にリサイクルの考え方を取り入れていくことがますます重要になってくる、などのご意見を頂きました。

また、30年間に渡りご指導頂いた鬼頭先生は13年度より電力技術研究会顧問会に移られます。



社外委員の紹介
後列左より5人目、菰田、沖本(長坂委員代理)
前列左2人目より、松村、一人おいて鬼頭、渡邊、松井の各専門委員